

施工状況等報告書

平成 29 年 1 月 27 日

長野県知事 阿部 守一 様

佐久市長 柳田 清二 様
小諸市長 小泉 俊博 様
御代田町長 茂木 祐司 様
軽井沢町長 藤巻 進 様

所在地 長野県佐久市中込 3056 番地佐久市役所内
名称 佐久市・北佐久郡環境施設組合
組合長 柳田 清二

長野県環境影響評価条例第 32 条第 1 項の規定により、下記のとおり送付します

記

対象事業の名称	新クリーンセンター建設事業
報告対象期間	平成 28 年 10 月 1 日から 平成 28 年 12 月 31 日まで
環境の保全のための措置	詳細は別紙添付資料のとおり
対象事業の実施状況	敷地造成工事は、敷地の掘削が続いている。施設本体建設工事は、平成 28 年 10 月 25 日建設請負契約を締結。実施設計協議を開始した。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

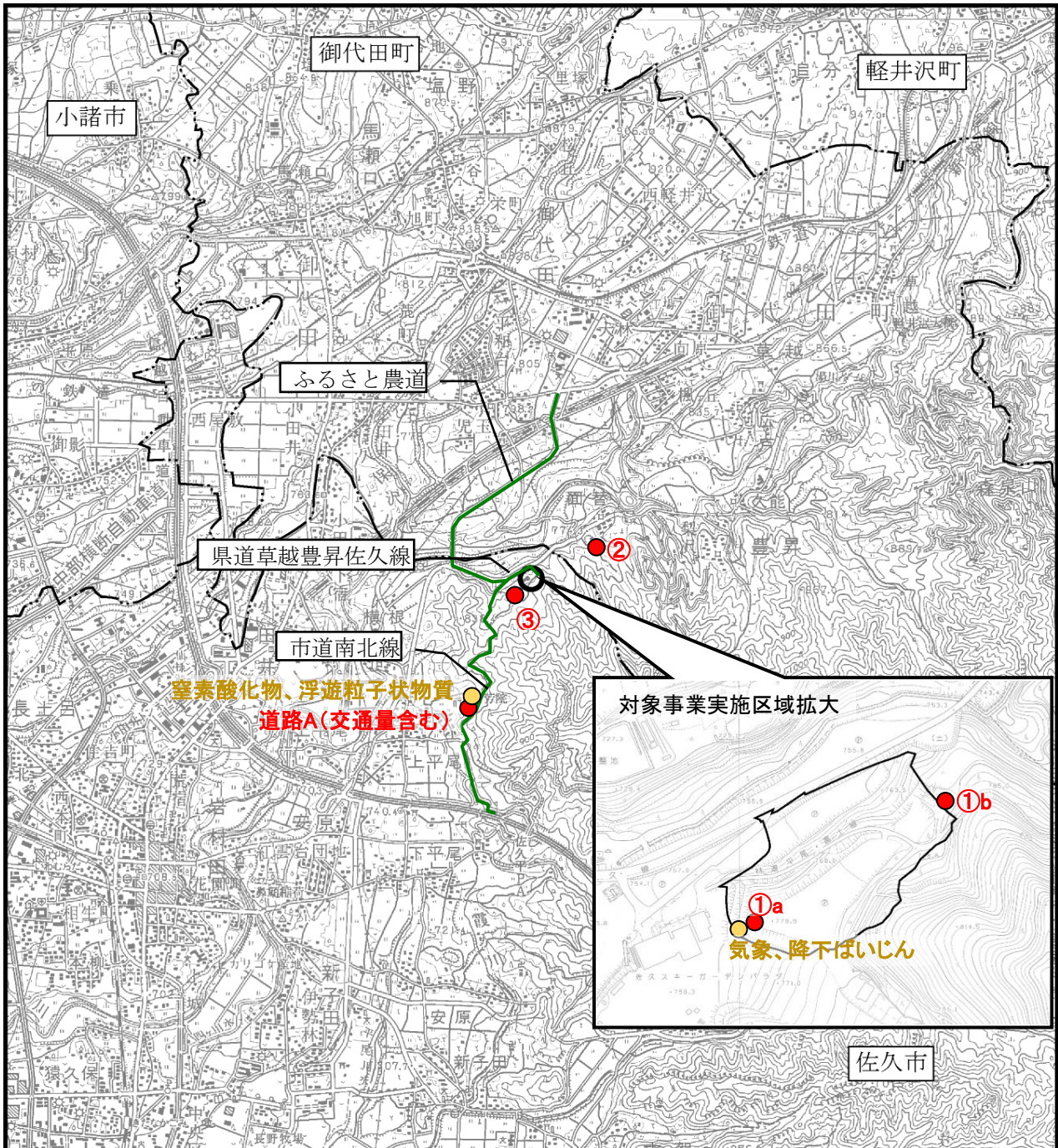
期間:平成28年10月1日～平成28年12月31日

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植 物	ヤエガワカンバ	成木・稚樹の移植	10月12日に移植個体の樹木活力度調査を実施。生育状況に異常は見られない。黄葉が始まる。	写真ヤエー1
			11月4日に移植個体の樹木活力度調査を実施。生育状況に異常は見られない。落葉が始まる。	写真ヤエー2
			12月13日に移植個体の状況確認。落葉したが、生育状況に異常は見られず、枝の先端に雄花序、枝中間部(前年枝)に果穂(種子を抱いた果苞の集合体)が確認できた。昨年度(H27年度)は果穂は確認されなかったが、今年度は無事結実したものと思われる。	写真ヤエー3
		種子保存及び 播種・育苗	10月12日に播種後の状況確認。プランターの幼樹6個体は樹高が10.0～22.0cmで一部に黄葉が始まる。なお、1個体(個体②)は枯れた。H28年度に播種したプランターにはヤエガワカンバの幼樹2個体(樹高7cm、6.5cm)が生育。H27年度の床蒔きの実生は確認されない。	写真ヤエー4, 5, 6
			11月4日に播種後の状況確認。プランターの幼樹6個体は樹高が9.0～21.5cmで全て落葉し冬芽形成(個体②は枯れ)。なお、個体②を除き、根元の直径は太くなっている。H28年度に播種したプランターのヤエガワカンバ幼樹2個体(樹高7cm、3.5cm)は落葉し、冬芽形成。H27年度の床蒔きの実生は確認されない。	写真ヤエー7, 8, 9
	オニヒヨウタンボク	成木の移植	10月12日に移植個体の樹木活力度調査を実施。落葉し、冬芽が形成。	写真オニー1
			11月4日に移植個体の樹木活力度調査を実施。落葉し、冬芽が形成。	写真オニー2
			12月13日に移植個体の状況確認。生育状況に異常は見られない。	写真オニー3
		挿し木及び 生育管理	10月12日に挿し木(H28.3.30実施)後の状況確認。落葉し、冬芽が形成。	写真オニー4
			11月4日に挿し木(H28.3.30実施)後の状況確認。落葉し、冬芽が形成。	写真オニー5
		種子保存及び 播種・育苗	10月12日に播種した種子の状況確認。H27年度に播種した種子の状況確認。プランター蒔きで芽生え5個体(増減無し)、床蒔きの芽生えは確認できない。	写真オニー6, 7
			11月4日に播種した種子の状況確認。H27年度に播種した種子の状況確認。プランター蒔きで芽生え5個体(増減無し)、床蒔きの芽生えは確認できない。今年度の種子を新たに11個を7月6日に採取して播種したが、現段階で発芽は見られない。	写真オニー8, 9, 10
		ギンラン	(追加項目) 個体の移植	10月21日に平成28年度の新たなギンラン移植地と平成27年度移植場所の状況確認を行った。平成28年度のギンランは果実が熟して黒く変色しており、平成27年度移植場所には変化は見られない。両移植地ともにギンラン以外の草本の生育に異常は無く、土壤の乾燥等は無いと考えられる。
	ノジトラノオ	(追加項目) 個体の保全	10月21日にノジトラノオ自生地(改変区域外)の状況確認。ノジトラノオの生育に異常は見られない。	写真ノジ-1

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植 物	ナガミノツルキケマン	(個体の保全 (追加項目))	10月12日にナガミノツルキケマンの自生地（改変区域外）の状況確認。 開花（黄色の花）が確認され、生育状況に異常は見られない。	写真ナガ-1
			10月28日にナガミノツルキケマンの移植。 10月21日に対象事業実施区域内で新たにナガミノツルキケマンの生育が確認されたため、移植作業を実施した。移植は手作業で行い、工事による影響を受けない市所有地へ3株を移植し、枠囲いと灌水を施した。	写真ナガ-2, 3, 4
			11月4日に移植個体の生育状況確認。 10月28日に移植した個体の生育状況を確認した。生育状況に異常は見られない。	写真ナガ-5, 6
	キクタニギク	(個体の保全 (追加項目))	10月12日にキクタニギクの自生地（改変区域外）の状況確認。 旺盛に開花しており、生育状況に異常は見られない。	写真キク-1, 2
動 物	ベニモンマダラ	生息基盤（クサフジ）の移植	10月12日にクサフジの種子採取、育苗。 種子の採取は佐久スキーガーデンパラダのクサフジ自生地で実施した。 平成27年12月2日にポットへ播種したクサフジの状況確認を行う。クサフジの実生は4個体で1個体減少した。	写真ベニ-1, 2
			11月4日に外来種を選択的駆除、クサフジの補植。 平尾用水法面のベニモンマダラ移植（クサフジ播種、クサフジ補植）先におけるオオブタクサ等の外来種を選択的駆除を行った。 平成27年12月2日にポットへ播種して発芽した実生6個体（上部葉あり4個体、上部枯れ2個体）を平尾用水法面へ移植し、平成28年5月に移植して残存していた個体とともにマーキングを行った。	写真ベニ-3, 4
			12月5日にクサフジの種子播種。 平成28年10月12日に採取したクサフジの種子およそ1,300粒のうち400粒をポット40個に播種した（1ポットあたり10粒）。播種は、発芽を促進するために種子にやすりをかけたもの200粒（20ポット）と、やすりをかけなかったもの200粒（20ポット）とした。来春以降に発芽のモニタリングを実施する。	写真ベニ-5, 6
	(希少猛禽類 (ハチクマ))	追加調査の実施	12月13日に落葉期の古巣の確認。 猛禽類定点観察（5月～8月）の結果、ハチクマが頻繁に出現したエリアを中心に、巣の発見が容易な落葉期に再度調査を実施したが、新たな猛禽類の巣は無かった。	写真モウ-1

環境影響評価項目	保全対象種	措置項目	措置内容	添付書類
大気質	大気質	事後調査	<ul style="list-style-type: none"> ●二酸化窒素（12月3日～12月9日に実施。） 日平均値：0.008ppm、日平均値の最高値：0.009ppm （環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmのゾーン内又はそれ以下を満足している。） ●浮遊粒子状物質（12月3日～12月9日に実施。） 日平均値：0.009mg/m³、日平均値の最高値：0.019mg/m³ （環境基準：1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下を満足している。） ●降下ばいじん（11月11日10:00～12月12日10:00に実施。） 水不溶性降下ばいじん量：4.3t/km²/月 （目標値：10t/km²/月を満足している。） 	写真タイ-1, 2
		事後調査	11月11日10:00～12月12日10:00に実施。 <ul style="list-style-type: none"> ●風向 最多風向：南（出現頻度：10.9%） ●風速 平均風速：1.3m/s ●気温 日平均値：4.0℃ ●湿度 日平均値：80% 	写真キシ-1
騒音	騒音レベル	事後調査	<ul style="list-style-type: none"> ●騒音レベル（12月6日の7:00～19:00に実施） 【①a：パラダ側敷地境界】L_{A5}（昼間）：55デシベル （規制基準：85デシベルを満足している。） 【①b：面替地区側敷地境界】L_{A5}（昼間）：63デシベル （規制基準：85デシベルを満足している。） 【②：面替地区（上尾崎付近）】L_{A5}（昼間）：51デシベル 〔アセス時の予測値（造成工事）：40デシベル〕 〔アセス時の現地調査結果：47デシベル〕 【③：北パラダセンターハウス】L_{A5}（昼間）：60デシベル 〔アセス時の予測値（造成工事）：61デシベル〕 〔アセス時の現地調査結果：70デシベル〕 【道路A（市道南北線の守芳院東側付近）】L_{Aeq}（昼間）：60デシベル （環境基準：65デシベルを満足している。） 	写真ソウ-1
		事後調査	<ul style="list-style-type: none"> ●交通量（12月6日の7:00～19:00に実施） 大型車：15台、小型車：243台、工事関係車両：221台（混入率：46%） 	写真コウ-1
振動	振動レベル	事後調査	<ul style="list-style-type: none"> ●振動レベル（12月6日の7:00～19:00に実施） 【①a：パラダ側敷地境界】L₁₀（昼間）：33デシベル （規制基準：75デシベルを満足している。） 【①b：面替地区側敷地境界】L₁₀（昼間）：25デシベル未満 （規制基準：75デシベルを満足している。） 【②：面替地区（上尾崎付近）】L₁₀（昼間）：25デシベル未満 〔アセス時の予測値（造成工事）：25デシベル未満〕 〔アセス時の現地調査結果：29デシベル〕 【③：北パラダセンターハウス】L₁₀（昼間）：25デシベル 〔アセス時の予測値（造成工事）：25デシベル未満〕 〔アセス時の現地調査結果：32デシベル〕 【道路A（市道南北線の守芳院東側付近）】L₁₀（昼間）：30デシベル （要請限度：65デシベルを満足している。） 	写真ソウ-1
大気質			・工事用車両出入り口の路面洗浄等	p. 24
			・工事区域への散水等	p. 25
騒音			・対策型建設機械の使用	p. 26～28
水質			・工事区域内からの流出抑制	p. 29

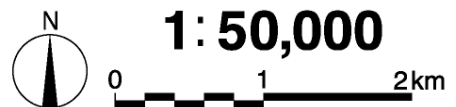
大気質、騒音、交通量、振動調査地点位置図




凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 大気質調査地点
- : 騒音、振動調査地点

—— : 市町界



	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-1
	撮影日	H28.10.12
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査) 生育状況に異常は見られない。 黄葉が始まる。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-2
	撮影日	H28.11.4
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査) 生育状況に異常は見られない。 落葉が始まる。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-3
	撮影日	H28.12.13
	移植個体の状況確認 (任意確認) 枝の先端に雄花序、枝中間部 (前年枝)に果穂(種子を抱いた 果苞の集合体)が確認できる。 昨年度(H27年度)は果穂は確 認されなかったが、今年度は 無事結実したと思われる。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-4
撮影日	H28.10.12
平成27年播種育苗個体② 樹高10.0cm 枯れた。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-5
撮影日	H28.10.12
平成28年の播種実施(4月18日実施) ヤエガワカンバの幼樹2個体(樹高7cm、6.5cm)を確認。 落葉始まる。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-6
撮影日	H28.10.12
播種の実施18ヶ月後の状況(床蒔き) H27.7月に実生を確認したが消失した。枯れたものと思われる。新たな実生も確認できない。	




保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-7
撮影日	H28.11.4
平成27年播種育苗個体 各個体の樹高(左から) ①17.5cm ②9.0cm(枯れ) ③20.0cm ④16.5cm ⑤21.5cm ⑥11.0cm	
落葉、冬芽形成。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-8
撮影日	H28.11.4
平成28年の播種実施(4月18日実施) ヤエガワカンバの幼樹2個体 (樹高7cm、3.5cm)。	
落葉、冬芽形成。	



保全対象種	ヤエガワカンバ
写真番号	ヤエ-9
撮影日	H28.11.4
播種の実施19ヶ月後の状況 (床蒔き) H27.7月に実生を確認したが 消失した。枯れたものと思わ れる。新たな実生も確認でき ない。	

	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-1
	撮影日	H28.10.12
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査) オニヒョウタンボクNo.1 落葉。冬芽形成。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-2
	撮影日	H28.11.4
	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査) オニヒョウタンボクNo.1 落葉。冬芽形成。	
	保 全 対象種	オニヒョウタンボク
	写 真 番 号	オニ-3
	撮影日	H28.12.13
	移植個体の状況確認 (任意確認) 落葉したが、生育状況に異常 は見られない。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-4
撮影日	H28.10.12
挿し木(H28.3.30実施)後の状 況 落葉し、冬芽が形成。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-5
撮影日	H28.11.4
挿し木(H28.3.30実施)後の状 況 落葉、冬芽形成。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-6
撮影日	H28.10.12
H27年度に播種した種子の状 況確認 (プランターへの播種) 芽生えは5個体(増減無し)。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-7
撮影日	H28.10.12
H27年度に播種した種子の状況確認 (床蒔き)	
芽生えは確認できなくなった。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-8
撮影日	H28.11.4
H27年度に播種した種子の状況確認 (プランターへの播種)	
芽生えは5個体(増減無し)。	



保 全 対象種	オニヒョウタンボク
写 真 番 号	オニ-9
撮影日	H28.11.4
H27年度に播種した種子の状況確認 (床蒔き)	
芽生えは確認できなくなった。	



保 全 対象種	オニヒヨウタンボク
写 真 番 号	オニ-10
撮影日	H28.11.4
オニヒヨウタンボクの種子採取 及び播種	
7月6日に種子11個を採取して 播種した。	
現段階では発芽は見られな い。	

	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-1
	撮影日	H28.10.21
	移植地の状況確認(任意確認)	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-2
	撮影日	H28.10.21
	平成27年度の移植地 異常は見られない。 枠内の他の草本類の生育にも異常は無く、土壌の乾燥等は無いと考えられる。	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-3
	撮影日	H28.10.21
	平成28年度の移植地 異常は見られない。 枠内の他の草本類の生育にも異常は無く、土壌の乾燥等は無いと考えられる。	

	保 全 対象種	ノジトラノオ
	写 真 番 号	ノジ-1
	撮影日	H28.10.21
	<p>ノジトラノオ自生地(改変区域外)の状況確認(任意確認)</p> <p>ノジトラノオの生育に異常は見られない。</p>	

	保 全 対象種	ナガミノツルキケマン
	写 真 番 号	ナガ-1
	撮影日	H28.10.12
	自生地の状況確認 対象事業実施区域外のナガミノツルキケマン。 開花(黄色の花)が確認され、 生育状況に異常は見られない。	
	保 全 対象種	ナガミノツルキケマン
	写 真 番 号	ナガ-2
	撮影日	H28.10.28
	移植個体の状況確認 対象事業実施区域内で、環境 影響評価の現地調査時には 生育していなかった場所に、 新たなナガミノツルキケマンの 生育個体が確認されたため (矢印の箇所)、事業による影 響を受けない場所に移植する こととした。	
	保 全 対象種	ナガミノツルキケマン
	写 真 番 号	ナガ-3
	撮影日	H28.10.28
	移植作業 対象事業実施区域内で新た に生育が確認されたナガミノ ツルキケマンの移植作業。 移植個体の掘り取り作業の様 子。	

	保 全 対象種	ナガミノツルキケマン
	写 真 番 号	ナガ-4
	撮影日	H28.10.28
	移植作業 対象事業実施区域内で新たに生育が確認されたナガミノツルキケマンの移植作業。 移植完了の様子。 枠張りと灌水を行った。	
	保 全 対象種	ナガミノツルキケマン
	写 真 番 号	ナガ-5
	撮影日	H28.11.4
	移植個体の状況確認	
	保 全 対象種	ナガミノツルキケマン
	写 真 番 号	ナガ-6
	撮影日	H28.11.4
	移植個体の状況確認 花も確認され、異常は見られない。	

	保 全 対象種	キクタニギク
	写 真 番 号	キク-1
	撮影日	H28.10.12
	<p>対象事業実施区域外のキクタニギク自生地。</p> <p>矢印箇所が生育個体。</p>	
	保 全 対象種	キクタニギク
	写 真 番 号	キク-2
	撮影日	H28.10.12
	<p>対象事業実施区域外のキクタニギク。</p> <p>旺盛に開花しており、生育状況に異常は見られない。</p>	



保全対象種	ベニモンマダラ
写真番号	ベニ-1
撮影日	H28.10.12
クサフジの種子採取。 自生するクサフジの様子。	



保全対象種	ベニモンマダラ
写真番号	ベニ-2
撮影日	H28.10.12
平成27年12月2日にポットへ播種したクサフジの状況確認 クサフジの実生4個体確認(1個体減少)	



保全対象種	ベニモンマダラ
写真番号	ベニ-3
撮影日	H28.11.4
ベニモンマダラ(幼虫)の食草クサフジ移植先(平尾用水法面)の草刈り、外来種選択的駆除、クサフジ生育及び補植個体へのマーキング 作業後の様子	



保 全 対象種	ベニモンマダラ
写 真 番 号	ベニ-4
撮影日	H28.11.4
ベニモンマダラ(幼虫)の食草 クサフジ移植先(平尾用水法 面)へのクサフジ補植作業	
平成27年12月2日にポットへ 播種して発芽した実生6個体 (上部葉あり4個体、上部枯れ2 個体)を平尾用水法面へ移植 した。	



保 全 対象種	ベニモンマダラ
写 真 番 号	ベニ-5
撮影日	H28.12.5
ベニモンマダラ(幼虫)の食草 クサフジの種子播種	
ポット苗に播種するクサフジの 種子(H28.10.12採取)。種子の 数はおおよそ1,300粒。このう ち、400粒の種子を40個のポッ トに播種した(1ポットあたり10 粒)。	



保 全 対象種	ベニモンマダラ
写 真 番 号	ベニ-6
撮影日	H28.12.5
ベニモンマダラ(幼虫)の食草 クサフジの種子播種	
播種は発芽を促進するために 種子にやすりをかけたもの 200粒(写真の白いポット20 個)と、やすりをかけなかつた もの200粒(写真の黒いポット 20個)とした。	

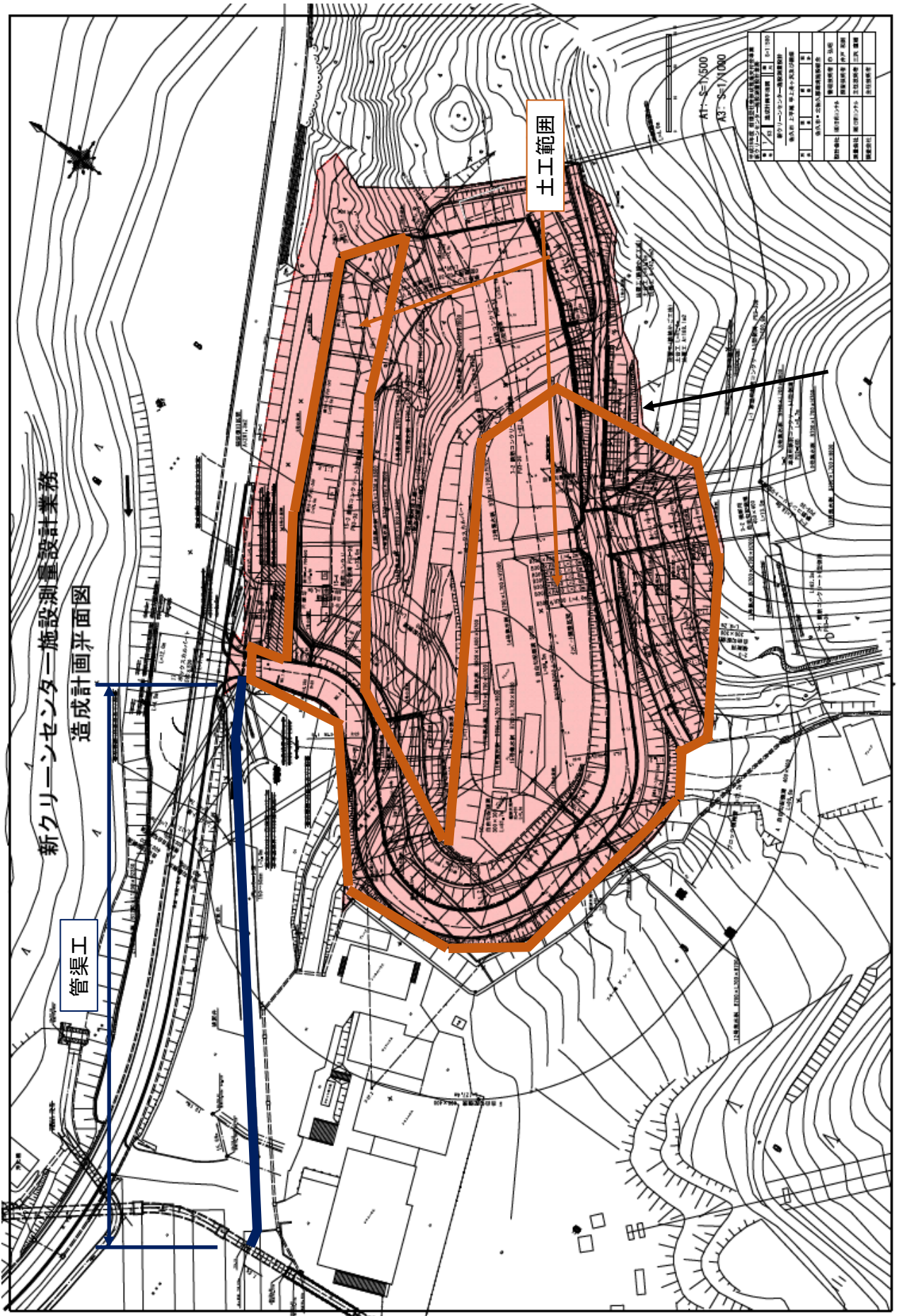


保全対象種	希少猛禽類
写真番号	モウ-1
撮影日	H28.12.13
希少猛禽類落葉期古巣確認実施状況	
<p>猛禽類定点観察(5月～8月)の結果、ハチクマが頻繁に出現したエリアを中心に、巣の発見が容易な落葉期に再度調査を実施したが新たな巣はなかった。</p>	

	保 全 対象種	大気質
	写 真 番 号	タイ-1
	撮影日	H28.12.3
	大気質の測定。 二酸化窒素、浮遊粒子状物質 の測定機器設置状況	
	保 全 対象種	大気質
	写 真 番 号	タイ-2
	撮影日	H28.11.11
	大気質の測定。 降下ばいじんの測定機器設置 状況	
	保 全 対象種	気象
	写 真 番 号	キシ-1
	撮影日	H28.11.11
	気象の測定。 風向、風速、気温、湿度の測 定機器設置状況	

	保 全 対象種	騒音、振動
	写 真 番 号	ソウ-1
	撮影日	H28.12.6
<p>騒音、振動の測定。</p> <p>調査地点：①a(パラダ側敷地境界)</p> <p>測定機器設置状況</p>		
	保 全 対象種	交通量
	写 真 番 号	コウ-1
	撮影日	H28.12.6
<p>交通量調査。</p> <p>調査地点：道路沿道A(市道南北線の守芳院東側付近)</p> <p>調査実施状況</p>		

施工状況等報告書添付資料「施工範囲位置図」





12 月定点写真



写真区分:環境対策
工種:工事用車両出入口の路面洗淨
写真タイトル:路面清掃車使用状況
撮影箇所:工事車両出入口



写真区分:環境対策
工種:工事用車両出入口の路面洗淨
写真タイトル:路面清掃車使用状況
撮影箇所:工事車両出入口



写真区分:環境対策
工種:工事用車両出入口の路面洗淨
写真タイトル:路面散水状況
撮影箇所:工事車両出入口



写真区分:環境対策
工種:工事区域への散水等
写真タイトル:散水実施状況
撮影箇所:工事区域



写真区分:環境対策
工種:工事区域への散水等
写真タイトル:散水実施状況
撮影箇所:工事区域



写真区分:環境対策
工種:工事区域への散水等
写真タイトル:散水実施状況
撮影箇所:工事区域



写真区分:環境対策
工種:対策型建設機械の使用
種別:バックホウ
細別:SK125SR
写真タイトル:使用機械(排
対型・超低騒音型)
撮影箇所:現場にて



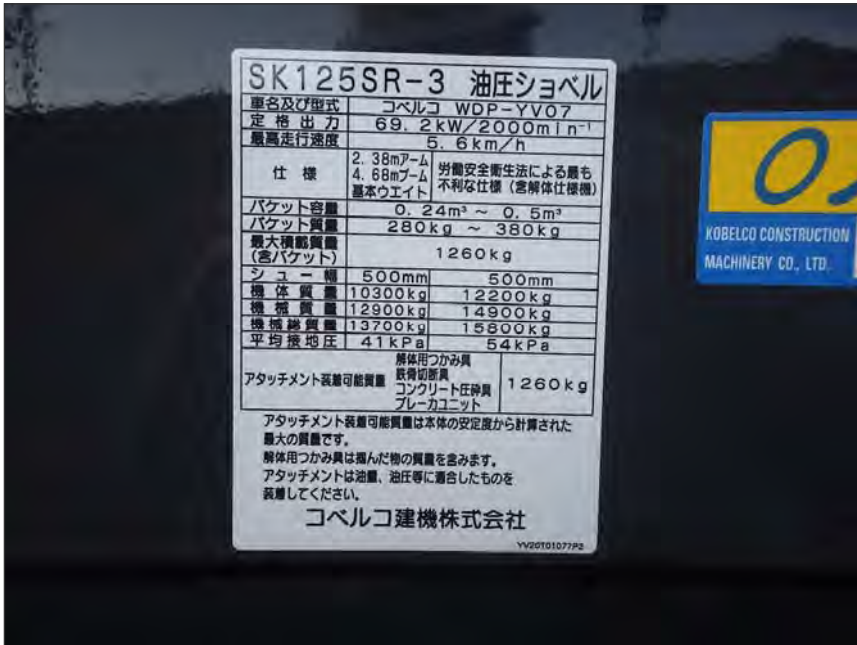
写真区分:環境対策
工種:対策型建設機械の使用
種別:バックホウ
細別:SK125SR
写真タイトル:使用機械(排
対型・超低騒音型)
撮影箇所:現場にて



写真区分:環境対策
工種:対策型建設機械の使用
種別:バックホウ
細別:SK125SR
写真タイトル:使用機械(排
対型・超低騒音型)
撮影箇所:現場にて



写真区分:環境対策
 工種:対策型建設機械の使用
 種別:バックホウ
 細別:SK125SR
 写真タイトル:使用機械(排
 対型・超低騒音型)
 撮影箇所:現場にて



写真区分:環境対策
 工種:対策型建設機械の使用
 種別:バックホウ
 細別:SK125SR
 写真タイトル:使用機械(排
 対型・超低騒音型)
 撮影箇所:現場にて



写真区分:環境対策
 工種:対策型建設機械の使用
 種別:バックホウ
 細別:SK125SR
 写真タイトル:使用機械(排
 対型・超低騒音型)
 撮影箇所:現場にて



写真区分: 環境対策
 工種: 対策型建設機械の使用
 種別: バックホウ
 細別: SK125SR
 写真タイトル: 使用機械(排
 対型・超低騒音型)
 撮影箇所: 現場にて



写真区分: 環境対策
 工種: 対策型建設機械の使用
 種別: バックホウ
 細別: SK125SR
 写真タイトル: 使用機械(排
 対型・超低騒音型)
 撮影箇所: 現場にて



写真区分:環境対策
工種:工事区域内からの流出抑制
写真タイトル:仮設沈砂池設置状況
撮影箇所:20号集水桝横



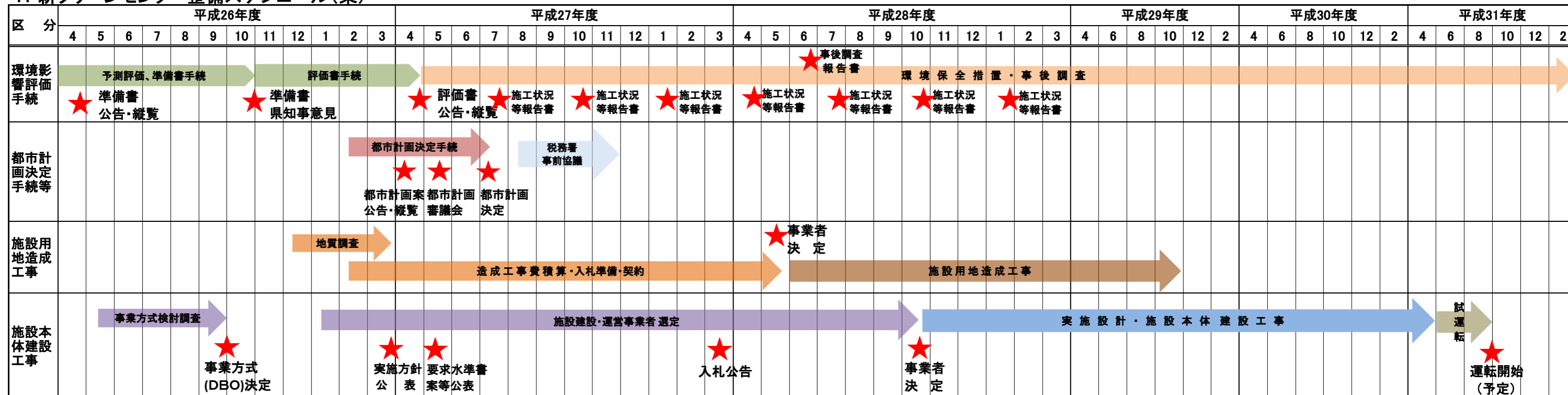
写真区分:環境対策
工種:工事区域内からの流出抑制
写真タイトル:仮設沈砂池設置状況
撮影箇所:20号集水桝横



写真区分:環境対策
工種:工事区域内からの流出抑制
写真タイトル:仮設沈砂池設置状況
撮影箇所:20号集水桝横

◆施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

1. 新クリーンセンター整備スケジュール(案)



2. 対象事業の実施状況一覧

年度	平成27年度				平成28年度			
	第1回報告 4月～6月	第2回報告 7月～9月	第3回報告 10月～12月	第4回報告 1月～3月	第5回報告 4月～6月	第6回報告 7月～9月	第7回報告 10月～12月	第8回報告 1月～3月
実施状況	現在、造成工事等については、未着手である。 【都市計画決定手続】平成27年7月8日付けで本事業に係る都市計画が決定。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得に係る税務署事前協議】平成27年8月19日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議を開始。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得関係】平成27年11月26日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議が完了。法人及び個人地権者と用地取得に係る契約を締結し、用地取得手続が概ね完了している。 【敷地造成工事】造成工事費の積算を行い、精査を実施している。	現在、造成工事等については、未着手である。 【敷地造成工事】平成28年3月14日付で入札公告、同3月30日に入札が行われた。残土運搬先について、該当する個人地権者へ説明。一部からの承を得られた。 【施設本体建設工事】平成28年3月14日付で入札公告、参加表明締切を同4月28日に予定している。	平成28年6月6日、敷地造成工事着手した。同日付で「対象事業着手報告書」を県へ提出した。 【敷地造成工事】6月は準備工として、敷地内の伐採と測量作業を行った。 【施設本体建設工事】平成28年4月28日付で入札参加表明を締切り、同6月27日付で提案書の提出を受付けた。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】敷地の掘削を開始した。管渠工事が完了した。 【施設本体建設工事】平成28年8月9日に開札及び総合評価を実施した。同9月1日、落札者決定について公表した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】掘削が続いている。 【施設本体建設工事】平成28年10月25日建設請負契約を締結。実施設計協議を開始した。	
年度	平成29年度				平成30年度			
回数	第9回報告	第10回報告	第11回報告	第12回報告	第13回報告	第14回報告	第15回報告	
報告対象期	4月～6月	7月～10月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	
実施状況								